

健診を受けるにあたっての【同意書】および健康診断書【引換書】

下記お読みいただき内容にご理解・ご了承いただけましたら □ に ✓ をご記載ください。なおご不明点等は院長または院内スタッフまでご相談ください。

- 今回お受けになる健康診断の項目は労働安全衛生規則第43条、第66条に基づいております。すなわち労働者が労働できるか、又は他の労働者に感染させる可能性がないかを判定するものです。したがって個人の精密な健康状態を知るといった意味では十分でないかもしれません。特に「がん」などの慢性消耗性疾患はこれらの検査では異常が認められないことがあります。
- 健康診断の所要時間は概ね60分を予定しています。但し、土曜日や他の診療の都合等で予定時間を超える場合があります。
- 採血は細心の注意を払って実施しています。採血のために注射針を静脈に刺す時に不快感があるかもしれません。また、わずかなあざ、変色、腫れ、注射針を刺した時の傷や失神が起こる可能性があります。
- 健康診断書(以下、診断書)に必要な項目については細心の注意を払って漏れのないように努力しております。時に再度お見え頂き、不足する部分について検査させて頂くことがあります。
- ご指定の用紙がある場合、当方で実施していない項目は斜線を引かせて頂きますのでご了承ください。他施設の結果書き込みは原則的にいたしません。結果の恣意的な書き換えはいたしかねます。
- ご記入いただいた問診票や診察によって当方が知り得た既往歴、自覚症状等は診断書に記載いたします(基本的にご本人様の申告をもって記載いたします)。記載を希望しないことによる責務はご本人様に帰しますのでご了承ください。また検査の結果、有意な所見が認められる時は、就業が可能な場合でも所見として記載させていただくことがあります。
- 当方の健康診断は日本人間ドック学会作成の判定区分を一部改変し使用しています。今回の健康診断の最終的な判定は事業所の判断となります。
- 診断書は原則受診日の翌日15時以降の診療時間内に受付にてお渡しいたします。ただし金曜日、土曜日に受診された方は翌週最初の診療日15時以降、祝前日に受診のされた方は翌診療日15時以降の診療時間内に受付にてお渡しいたします。診療時間外のお渡しはいたしかねます。診断書は特殊検査がある場合は、日数がかかります。**

≪診療時間≫ 平日 9時00分～13時00分、14時00分～18時00分
 土曜 9時00分～13時00分
 ※休診日：土曜午後、日曜、祝祭日、その他当方が定める休診日

- 診断書のお渡しには常に細心の注意を払って時間を厳守しております。しかし当方の力の及ばぬ事態により遅延する場合もあり得ますので、余裕をもって健康診断をお受けください。
- 《当方の力の及ばぬ事態の例》①地震、災害など ②血液・尿検査工程でのアクシデント:検査センターまでの輸送、検査センターでの処理、検査センターから結果の受診(FAX、インターネット)、その他検査センター側のアクシデントによりデータを時間までに受領できない場合など
- 診断書をお受け取りになられる際は、こちらの用紙を受付にご提出ください。代理の方が診断書をお受け取りになられる際も、こちらの用紙を必ず受付にご提出ください。
- 診断書をお渡しする際、内容をご確認いただけます。また診断内容によっては医師から説明の上お渡しいたしますので時間に余裕をもってお越しください。
- 2枚以上の診断書(和文)を必要とする場合、2枚目以降1枚につき5,000円＋税の書類作成費用を申し受けます。**
- 診断書の有効期限は受診日から3か月です。3か月以上お受け取りのない場合は廃棄いたします。
- 上記アクシデントも含め診断書はいかなる場合も**メール・FAXでの送信、郵送や宅急便などの手配はいたしかねます。また、電話等で診断書の内容をお伝えすることはいたしかねます。**
- 費用お支払い以後の返金には応じられません。また不測の事態によりお渡し期限などに支障が出た場合や再度の来院をお願いする場合でも返金いたしかねます。
- いかなる場合も**領収証の再発行はいたしかねます。**費用お支払い時にお渡しする当方発行の領収証は絶対に紛失しないようご注意ください。
- 今回の診断書によって採用の可否が問われた場合の補償は一切いたしかねますのでご了承ください。
- 検査結果及び今回お答え頂いた質問に関し、個人を同定できない形で受診者様全体の傾向を分析する統計・集計処理の上、場合によっては公表いたします。つきましては左記以外には一切他の目的に利用いたしませんのでご了承ください。

上記、当方の健康診断に関し質問の有無と同意・不同意の該当する□に✓をご記載ください。また日付の記載とご署名をお願いいたします。なお同意いただけない場合は健康診断の受診をお断りしますが、診療上の不利益が生じることは一切ありません。

質問はありません。 質問があります。(質問内容: _____)

上記の記載について、同意します。 上記の記載について、同意しません。

ご署名日: 20____年____月____日 ふりがな
ご署名: _____

クリニック使用欄 指 J 英 電離 OPあり 裸眼 矯正 尿

健康診断受診項目の説明

そねクリニック 2014年2月21日作成

検査項目	単位	基準値	調べる内容	対策など
血圧	mmHg	収縮期 ~129 拡張期 ~ 84	血管にかかる圧力を調べます	減塩、減量を心掛けて下さい。それでも不十分であればお薬を必要とします
血色素量 (ヘモグロビン)	g/dℓ	男性 13.1~16.6 女性 12.1~14.6	血液を採取して貧血の有無を調べます	鉄分の多い食品はレバー、肉などです。ほうれん草は油とともに摂取して下さい
赤血球数	10 ⁴ /μℓ	男性 400~539 女性 360~489		
GOT (AST)	U/ℓ	~30	血液を採取して肝臓の機能を調べます	ウイルス性肝炎、アルコール性肝障害、脂肪肝、場合によっては疲労や睡眠不足で上昇します アルコールを減らし、減量も心掛けて下さい
GPT (ALT)	U/ℓ	~30		
γ-GTP (γ-GT)	U/ℓ	~50		
LDL コレステロール (悪玉コレステロール)	mg/dℓ	60~119	血液中に含まれる脂質の量から動脈硬化の危険度などを調べます	高い場合、遺伝・食事・食事内容(卵、魚卵)が考えられます
HDL コレステロール (善玉コレステロール)	mg/dℓ	40~119		
トリグリセライド (中性脂肪)	mg/dℓ	30~149		高い場合、炭水化物の摂り過ぎが考えられます
空腹時血糖	mg/dℓ	~99	血液を採取して糖尿病の危険度を調べます	高血糖と尿糖陽性は糖尿病の疑いがあります。医療機関の受診をお勧めします
尿糖		(-)	尿中の糖の量から糖尿病の危険度を調べます	
尿蛋白		(-)	尿を採取して腎臓の機能を調べます	尿蛋白陽性が続く場合、腎臓専門医を受診して下さい
胸部 X 線検査		正常範囲	肺(特に結核)や心臓に関して異常の有無を調べます	肺がんや肺気腫は診断できないことが多いので、たばこの影響を知ることはできません
心電図		正常範囲	心臓の機能や不整脈を調べます	必要ならば専門医を受診して下さい

※正常範囲:検査の結果、正常な場合と所見はあるが異常ではない場合